

第7回都留市地域クラブ活動推進協議会資料

令和7年6月2日（月） 16：00～

於：教育プラザ都留 本館小研修室

- 報 告 令和7年度都留市地域クラブ活動参加状況について
- 議事1 都留市地域クラブ活動推進協議会の組織の変更について
- 議事2 生徒・保護者アンケートの結果について
- 議事3 今後の地域クラブ活動の体制整備について
- 議事4 その他

報告

都留市地域クラブ活動競技別人数														R7.5.21			
競技名	男女別	1年				2年				3年				合計人数		部活動部員数	
学校名		一中	二中	東中	合計	一中	二中	東中	合計	一中	二中	東中	合計	男女別	合計	男女別	合計
陸上競技	男	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	2		0
	女	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
ソフトテニス	男	1	3	2	6	6	5	4	15	0	0	2	2	23	44	63	106
	女	1	0	0	1	7	5	0	12	5	3	0	8	21			
バレーボール	男	2	1	0	3	4	5	0	9	3	2	0	5	17	37	47	100
	女	0	8	0	8	0	7	0	7	1	4	0	5	20			
卓球	男	0	0	0	0	0	1	3	4	0	1	1	2	6	13		73
	女	0	0	1	1	0	0	4	4	0	0	2	2	7			
剣道	男	0	1	0	1	0	1	0	1	0	3	0	3	5	6		11
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1			
ラグビー	男	1	1	0	2	1	0	2	3	3	0	4	7	12	12		11
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
合計		5	15	3	23	18	25	13	56	12	14	9	35	114		39	

陸上競技・ラグビーは、季節部のため部員数は見込みです

議事 1 都留市地域クラブ活動推進協議会の組織の変更について

都留市地域クラブ活動推進協議会設置要綱
(組織)

第3条 2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育長が選任する。

(2) 中学校校長及び教諭代表

委員の所属

- ・ 都留市小中体連理事長
- ・ 都留市中学校文化部顧問代表



- ・ 中学校コーディネーター
市内3中学校より

新しい委員

都留第一中学校コーディネーター

○○ 先生

都留第二中学校コーディネーター

○○ 先生

東桂中学校コーディネーター

○○ 先生

PTA連合会代表

○○ 様 (都留二中)

議事2 生徒・保護者アンケートの結果について

都留市地域クラブ活動についてのアンケート (生徒用) (保護者用)

回答期間：令和7年4月7日～4月30日

対象：都留市内中学生及びその保護者

生徒アンケート

学校	回答者
一中	20
二中	49
東中	18
合計	87

学年	回答者
1年	49
2年	19
3年	19
合計	87

保護者アンケート

学校	回答者
一中	41
二中	86
東中	27
合計	154

学年	回答者
1年	79
2年	37
3年	38
合計	154

議事2 生徒・保護者アンケートの結果について

都留市地域クラブ活動についてのアンケート（生徒用）

設問1 中学校名を選択してください。

都留第一中学校 都留第二中学校 東桂中学校

設問2 学年を選択してください。

1年 2年 3年

設問3 令和6年度には、地域クラブ活動に参加しましたか。（2・3年生のみ）

- 参加した
 所属している部活動と同じ種目の地域クラブ活動が開始されたが、参加しなかった
 所属している部活動と同じ種目の地域クラブ活動が開始されていないので、参加しなかった

（設問3で「参加した」を選択した方は、設問4～7にお答えください）

設問4 参加した地域クラブ活動を選択してください。

陸上競技 ソフトテニス バレーボール 卓球 剣道
 ラグビー

設問5 地域クラブ活動の満足度を10段階でお答えください。（最高は10、最低は1で）

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

設問6 地域クラブ活動に参加して、良かったことがありましたら書いてください。

設問7 地域クラブ活動に参加して、改善してほしいことがありましたら書いてください。

（全員がお答えください）

設問8 ご意見、ご要望等がありましたら書いてください。

都留市地域クラブ活動についてのアンケート（保護者用）

設問1 お子様の中学校名を選択してください。

都留第一中学校 都留第二中学校 東桂中学校

設問2 お子様の学年を選択してください。

1年 2年 3年

設問3 令和6年度に、お子様は地域クラブ活動に参加しましたか。（2・3年の保護者のみ）

- 参加した
 所属している部活動と同じ種目の地域クラブ活動が開始されたが、参加しなかった
 所属している部活動と同じ種目の地域クラブ活動が開始されていないので、参加しなかった

（設問3で「参加した」を選択した方は、設問4～7にお答えください）

設問4 お子様に参加した地域クラブ活動を選択してください。

陸上競技 ソフトテニス バレーボール 卓球 剣道 ラグビー

設問5 お子様の地域クラブ活動の満足度を10段階でお答えください。

（最高は10、最低は1で）

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

設問6 部活動から地域クラブ活動に移行して、良かったことがありましたら書いてください。

設問7 部活動から地域クラブ活動に移行して、改善してほしいことがありましたら書いてください。

（設問8・9は、全員がお答えください）

設問8 現在地域クラブ活動の費用として、生徒保険代（800円）のみを徴収しています。国のガイドラインでは、「地域クラブ活動の運営団体は、可能な限り低廉な会費を設定する」と記載されています。

お子様が地域クラブ活動に参加する場合に、1ヶ月の活動費はどの程度が適当だと思いますか。次の中から選択してください。

500円未満 500円～1000円未満 1000円～1500円未満
 1500円～2000円未満 2000円以上

設問9 ご意見、ご要望等がありましたら書いてください。

議事 2 生徒・保護者アンケートの結果について

設問 3 令和6年度には、地域クラブ活動に参加しましたか。(2・3年生のみ)

- 参加した
- 所属している部活動と同じ種目の地域クラブ活動が開始されたが、参加しなかった
- 所属している部活動と同じ種目の地域クラブ活動が開始されていないので、参加しなかった

生徒アンケート

2・3年回答者の内訳	
地域クラブ活動が開始され、参加している	15
地域クラブ活動が開始されているが、参加していない	7
地域クラブ活動が開始されていないので、参加していない	16
総合計	38

保護者アンケート

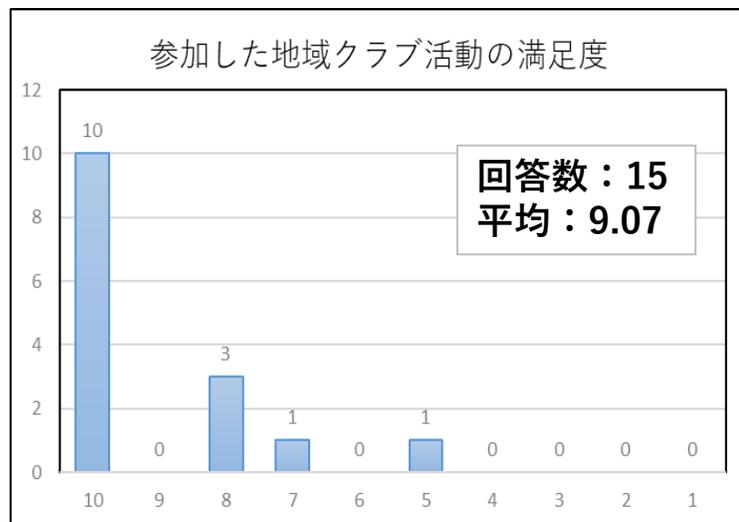
2・3年回答者の内訳	
地域クラブ活動が開始され、参加している	26
地域クラブ活動が開始されているが、参加していない	12
地域クラブ活動が開始されていないので、参加していない	37
総合計	75

議事 2 生徒・保護者アンケートの結果について

設問 5 地域クラブ活動の満足度を10段階でお答えください。（最高は10、最低は1で）

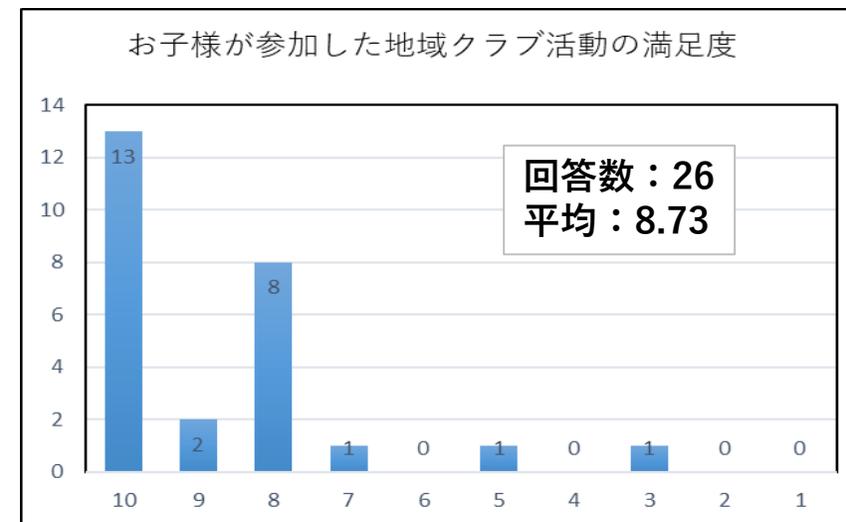
生徒アンケート

参加した地域クラブ活動の満足度	回答数
10	10
9	0
8	3
7	1
6	0
5	1
4	0
3	0
2	0
1	0
合計	15



保護者アンケート

お子様が参加した地域クラブ活動の満足度	回答数
10	13
9	2
8	8
7	1
6	0
5	1
4	0
3	1
2	0
1	0
合計	26



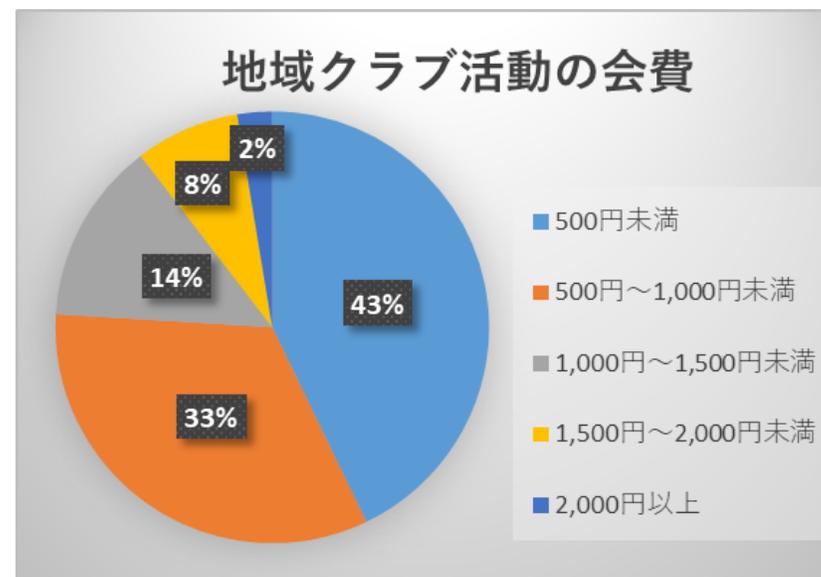
議事2 生徒・保護者アンケートの結果について

保護者アンケート

設問8 現在地域クラブ活動の費用として、生徒保険代（800円）のみを徴収しています。国のガイドラインでは、「地域クラブ活動の運営団体は、可能な限り低廉な会費を設定する」と記載されています。お子様が地域クラブ活動に参加する場合に、1ヶ月の活動費はどの程度が適当だと思いますか。次の中から選択してください。

- 500円未満 500円～1000円未満 1000円～1500円未満
 1500円～2000円未満 2000円以上

地域クラブ活動の会費	回答数	%
500円未満	66	43
500円～1,000円未満	51	33
1,000円～1,500円未満	21	14
1,500円～2,000円未満	12	8
2,000円以上	4	3
	154	100



議事2 生徒・保護者アンケートの結果について

生徒アンケート① 良かったところ

(生徒) 設問6 (設問3で「参加した」を選択した方) 参加した地域クラブ活動の良かったところ
おもしろい
コーチがしっかり教えてくれた事で上手くなった
たくさん練習ができること
たくさん練習できること、丁寧に教えてもらえること。他の学校の子と、一緒に練習できて友達になれたこと。
バレーができた
よく教えていただいた
学校とは違って、強い指導者の方との練習ができるところ。
指導者が優しい
指導者と経験者が楽しく真剣に教えてくれて、とても嬉しかったです。
〇〇先生に教えてもらえたから良かった。
色々な学校の人と練習出来る所
先生と接しやすかった。
他校の生徒との交流が出来た
定期的に練習することができる。
練習の機会が増えて嬉しかった

議事 2 生徒・保護者アンケートの結果について

生徒アンケート② 改善点

(生徒) 設問 7 (設問3で「参加した」を選択した方) 参加した地域クラブ活動の改善点
一緒に練習しているメンバーで同じチームで試合に出たいです。敵になりたくないです。
空調設備をしてほしい
校内のトイレが使用できないのがイヤだ。
時間が短い
中学生にも遊びの要素をいれて欲しい。
部活動と学校との連携
練習場所が遠い。

議事2 生徒・保護者アンケートの結果について

生徒アンケート③ 意見・要望

(生徒) 設問8 (全員が対象) 地域クラブ活動についてのご意見・ご要望等
あまり遠い場所は、行くのが大変
コーチがたくさんいて、楽しく上手くなれるので続けてほしいです。もっとたくさん練習したいです。
のびのび楽しく活動ができる場所であってほしいです。
もっと長くやりたい
楽しかった
活動がどのように行われているかまいわからない
子供達が楽しく向上心を持ってスポーツ活動が出来る事を最優先で指導者の人選や環境づくりを考えて頂きたい。また、指導者の負担が大きくなりすぎないように複数人確保出来たらありがたい。教員を目指す文大生を活用する事は難しいのでしょうか。
自分の家から行きやすくて、近いところだと良い。
地域クラブ活動の種類をもっと増やしてほしいです。
地域移行の種類が少ないためできるスポーツを増やして欲しいです。
都留の端から端までは距離がかなり離れており、活動場所までの移動の距離が長くとても大変に感じます。なるべく中心地で活動を行なっていただくと公平かと思います。
文化系(吹奏楽や美術)も都留でもやって欲しいです

議事2 生徒・保護者アンケートの結果について

保護者アンケート① 良かったところ

(保護者) 設問6 (設問3で「参加した」を選択した方) お子様に参加した地域クラブ活動の良かったところ
コーチ、経験者が楽しく指導してくれる所
コーチが増えたこと。
スポ少の剣道で教わっている〇〇先生に指導してもらえるので喜んでます。
スポ少の先生方達だったので参加しやすかったです。
よく指導していただいた
楽しくバレーができた。
教えてくださっている方の指導
月に2回なので勉強と両立が出来る所。
指導者がとても熱心に指導して下さい、上達してます。練習時間をもう少し増やしてもらいたいです。もっと上達して大会に参加させたいと考えています。
初めて参加した競技でしたが、指導者の先生方が丁寧に指導をしてくださったので、楽しく参加することができました。ありがとうございます。今年度もよろしくお願い致します。
小学生のころから、通わせていただいているので慣れた環境で活動できて助かります。
色々な学校の子と練習ができてよい
専門のコーチに指導していただき、大勢の仲間と練習できることが励み、やりがいに繋がっていたと思います。
専門の方々が、丁寧に教えて下さり、とても良かったです。また、他校の生徒さん達と一緒に練習することで、士気が上がったと思います。
専門的な指導
専門的指導をしてもらえて楽しいみたいです
他校の生徒との交流が出来た
仲間意識が強く、チーム一丸に頑張っていたところ
部活動等の強化になるところです。

議事 2 生徒・保護者アンケートの結果について

保護者アンケート② 改善点

(保護者) 設問 7 (設問3で「参加した」を選択した方) お子様に参加した地域クラブ活動の改善点
ラグビーの練習なので、玉川グラウンド等の芝の施設で練習させてあげてほしい。市営の施設をもっと市で積極的に使用させるべき。
学校と部活との連携
休み時の電話以外の連絡方法があると嬉しい。
空調設備を整えて欲しいです
指導者が2名来てくれていますが、防具をつけて指導していただくのは1名のみなので、せっかくの機会なので、可能であればお二人とも防具をつけてたくさん指導していただけると有り難いです。
時間が遅く、練習時間も長くしてほしいそうです。
初心者・中級・上級と、クラスを分けて欲しい。
部活と両立して欲しい所
練習時間を増やして欲しい。

議事2 生徒・保護者アンケートの結果について

保護者アンケート③ 意見・要望

(保護者) 設問9 (全員が対象) 地域クラブ活動についてのご意見・ご要望等
クラブチーム指導者も結局は仕事があるので、活動開始時間が18:30,19:00などと遅い。部活の時間帯(16:00-18:00)にクラブチームの活動を設定してくれないと、部活の代わりにはなりません。今までは部活後に塾に行けたのに、現状では塾と時間が被っていて、クラブか塾を選ばさせられている状況です。文武両道ではなく文or武。
クラブと部活が重なって、クラブがある土日に部活もあるのでどっちかにしてほしい
サッカー
スポーツ以外のクラブも開設してほしい
より多くの子どもが参加するには続けやすさが重要かと思えます。金銭的な面はもちろんですが、現地までの送迎等子供達だけで間に合わないとなるとリスクの一つとなってしまいます。
学校から地域クラブへの送迎をお願いしたいです
学校の部活の数が少ないので、地域クラブがあると子どもの選択肢が増えて良い。
活動費がかかる場合と言われてもどのようなことにかかるのかははっきりわからない。また活動の団体によっても違うと思うのでこのようなアンケートは答えづらい。
宮城県では、2028年から休日部活動も廃止する記事を見ました。現在、子供は隣市のバスケのクラブチームに入っています。いずれ部活もなくなり、完全にクラブチームだけという時が来た場合、月謝や遠征費、ユニフォーム代、交通費などかかる費用なども国からなどの援助などもして頂きたいです。貧困家庭などは、クラブチームにさえ入る事も出来ないと思います。スポーツを通じて、向上だけでなく色々な事を体験する機会でもあります。その辺りも含めてしっかり検討して頂きたいです。
始まったころ参加しようかまよっていましたが、様子が分からず参加する事をやめました。またこちらのアンケートのサイトはすごく使いにくいです。
子供が楽しめればそれで良いと思います。
子供が自分で行ける範囲で活動出来ないと感じさせられない
指導員の条件として資格を要する場合、研修費補助も考慮してあげて下さい
時間的に活動場所までの送迎ができるか心配です

時代の大きな変化により、自身(親)が育ってきたときは多くの状況が異なることに戸惑いは隠せませんが、こうしてきめ細やかに意見をまとめてくださることに感謝いたします。子どもが1年生のため、設問2までしか回答できず、設問3は「参加した」になってしまっています
種類がもっと増えてほしい
週5くらいで活動してほしい。学校の部活動が中途半端すぎるので移行は地域クラブの準備ができてからにしてほしい。指導者が見つからなければ指導者への謝礼を増やすなど国で考えてほしい。子どもの健康が危機的状況にあると思う。
親の送迎や、保険代等負担に感じる
設問4.5が自動入力になっていて、選択なしが出来ませんでした。
早く地域移行をしてもらいたい。地域クラブとして試合に出て活躍させたい。指導者がとても素晴らしい。
続けてクラブ活動を行ってほしい。
対象クラブ活動以外の活動も取り組んでもらいたい。
地域になると家族の負担が大きく、家族の協力が得られないため、金銭的にも大変でやせたくない。
地域移行については時代の流れとして理解できるので、特に異論はありません。説明会では、現在活動しているのはスポーツ系クラブのみとのことでしたが、文化・芸術系の地域クラブ活動の進捗状況はいかがでしょう。クラブ活動はスポーツ系に限らず、文科系の活動も重要だと考えますので、その推進もぜひお願いいたします。また今後の可能性として、入門レベルの敷居が低いスポーツ、文科系活動の機会があると思います。これは単発開催や年度初めの4月、5月のみ、又は年間3~4回程度の開催でも効果的かと思えます。
中学生は中間テスト期末テストなど勉強もしなきゃいけないので今まで通りの活動日数がいいです。
働く親御さんが、多いので送迎などが、あると助かると思います。
部活という名の習い事なので地域クラブ活動も中々難しいと思うので、部活が今まで通り出来ないなら、もう学校部活動をなくしても良いと思います。
部活を楽しみにしてある子なので活動出来る場があったらいいと思うが、活動場所まで送迎が必要になると負担を感じる。
保険代の支払い方法を選択可能な支払い方法にして欲しい。
保険代を支払に行くのに、17時までだと職場に時間休をもらわなくてはならないので、難しい
本業がありながら、休日の時間をさいてご指導くださりありがとうございます。

議事3 今後の地域クラブ活動の体制整備について

令和7年5月16日（金）

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめが、まとめられました。

※下記の内容は、公立中学校等の生徒を主な対象としたもの

1. 改革の理念及び基本的な考え方等

(1) 改革の理念

- 急激な少子化が進む中でも、**将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実**するのが改革の主目的。
※改革を実現するための手法を考える際には、**学校における働き方改革の推進を図ることや良質な指導等を実現することについても考慮**。
- 学校単位で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、**地域全体で関係者が連携して支え、生徒の豊かで幅広い活動機会を保障**。
- スポーツ基本法、文化芸術基本法で、地方公共団体による「地方スポーツ推進計画」、「地方文化芸術推進基本計画」の策定が努力義務とされていることも踏まえ、各地域において**スポーツ・文化芸術施策を総合的に推進する中で、部活動改革も計画的に進められることを期待**。

(2) 地域クラブ活動の在り方

- 地域クラブ活動においては、**学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展**させつつ、**新たな価値を創出**することが重要。
 <新たな価値の例>
 生徒のニーズに応じた多種多様な体験（1つの競技種目等に専念しないマルチスポーツや、スポーツと文化芸術の融合、レクリエーション的な活動等を含む）、生徒の個性・得意分野等の尊重、学校等の垣根を越えた仲間とのつながり創出、地域の様々な人や幅広い世代との豊かな交流、適切な指導者による良質な指導、学校段階にとられない継続的な活動（引退のない継続的な活動）及び地域クラブの指導者による一貫的な指導
- 地域クラブ活動の**具体的な実施形態や活動内容等は多様な形があり得る**。地域の実情等にあった望ましい在り方を見出していくことが重要。
- 民間のクラブチーム等との区別や質の担保等の観点から、**国として、地域クラブ活動の定義・要件や認定方法等を示した上で、地方公共団体において認定を行う仕組みを構築**していく必要。

(3) 地域全体で連携して行う取組の名称（「地域移行」の名称変更等）

- 上記の理念や地域クラブ活動の在り方等をよりの確に表すため、「**地域移行**」という名称は、「**地域展開**」に変更。
 【コンセプト】①学校内で運営されてきた活動を広く地域に開き、地域全体で支えていく。+ ②新たな価値を創出し、より豊かで幅広い活動を可能とする。
 ※学校部活動から地域クラブ活動に転換した場合であっても、地域クラブ活動の実施に当たって、学校施設の活用等、学校との連携は図る必要。

(4) 改革を進めるに当たっての基本的な考え方

- **上記の理念等を幅広い関係者で共有しながら地域展開等に取り組むこと。**
- **具体的手法は地域の実情等に応じた多様な選択肢を認めること。**
- **活動の場を増やすだけでなく、活動内容の質的向上も図ること。**
- **対面とデジタルを最適に組み合わせるなど新たな手段も最大限活用すること。**
- **受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方を検討し、国・都道府県・市区町村が支え合いながら適切な支援を行うこと。**
- **障害のある子供や運動が苦手な子供等を含め、多様な子供が希望に応じて安心して活動に参加できる環境を整備することが重要であること。**
- **地方公共団体等において、地域クラブ活動に関する情報を整理・集約し、学校と連携して、生徒・保護者にきめ細かな情報提供等を行うこと。** 1

2. 改革推進期間の成果と課題

- 令和5年度から「改革推進期間」がスタートし、国の実証事業等を通じて、地方公共団体による取組が着実に進捗。既に休日の地域展開を進めている地方公共団体等も存在しており、今後も更に改革が進捗していく見込み。
- 地方公共団体の創意工夫により、地域の実情に応じた運営形態のモデルや指導者確保等の課題の解決に向けた方策等も見出されている。
- 他方、改革途上にある地方公共団体等も多い。これまでの改革の歩みを止めず、より一層の改革を進めていくことが必要。そのためにも、国において実証事業等の成果と課題の整理・分析を行い、課題の解決方策等も明らかにし、広く普及していくことが重要。

3. 今後の改革の方向性

- 地方公共団体が幅広い関係者の理解と協力の下、平日・休日を通じた活動を包括的に企画・調整し、多様な選択肢の中から地域の実情等に合った望ましい在り方を見出し、改革の方針を決定することが重要（生徒・保護者等への丁寧な説明も必要）。
※休日の地域展開とともに、平日の地域展開もあわせて、できるところから取り組むことなどもあり得る。

<p>改革の進め方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・休日については、次期改革期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す。 ※地域の実情等を踏まえつつ、できる限り前倒しでの実現を目指すことが望ましい。 ※中山間地域や離島など特殊な事情により地域展開に困難が伴う場合等には、国としても、きめ細かなサポートを通じて地域展開を後押し。それでも地域展開が困難な場合には、当面、部活動指導員の配置等を適切に実施。 ・平日については、各種課題を解決しつつ更なる改革を推進。まずは、国において、地方公共団体が実現可能な活動の在り方や課題への対応策の検証等を行うとともに、地方公共団体において地域の実情等に応じた取組を進める。
<p>次期改革期間</p>	<p>「改革実行期間」（前期：令和8～10年度 ⇒ 中間評価 ⇒ 後期：令和11～13年度）</p> <p>※現時点で着手していない地方公共団体においても、前期の間に確実に休日の地域展開等に着手。 ※平日の改革については、前期において活動の在り方や課題への対応策等の検証を行った上で、中間評価の段階で改めて取組方針を定め、更なる改革を推進。</p>
<p>費用負担の在り方等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体において、地域の実情等に応じて安定的・継続的に取組が進められるよう、受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方等を検討する必要（公的負担については国・都道府県・市区町村で支え合うことが重要）。 ※受益者負担の水準については、国において金額の目安等を示すことを検討する必要。 ・企業版ふるさと納税やガバメントクラウドファンディングをはじめとした寄附等の活用等、新たな財源の確保も有効に組み合わせていくことが重要。 ・家庭の経済格差が生徒の体験格差につながることを防ぐため、経済的に困窮する世帯の生徒への支援については確実に措置を行う必要。 ・部活動指導員の配置について、次期改革期間においても一定の範囲で支援を行っていく必要。

4. 地方公共団体における推進体制の整備

- 地方公共団体において、専門部署の設置や総括コーディネーターの配置等、適切な推進体制を整備することが重要。
- 改革を円滑に進めるためには、地方公共団体とともに、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、体育・スポーツ協会、競技団体、文化芸術団体、文化協会、社会教育施設、民間事業者、大学、地域の中学校体育連盟、中学校文化連盟、スポーツ推進委員等と適切に役割分担を行い、幅広い関係者が連携・協働しながら一体となって取組を進める必要。
- 都道府県が広域自治体としてリーダーシップを発揮し、市区町村に対して必要な支援をきめ細かく行うことも重要。
- 一つの市区町村における対応が困難な場合には、複数の市区町村による広域連携の取組を進めることも重要。

5. 学習指導要領における取扱い

- 地域クラブ活動は、学校外の活動ではあるものの、教育的意義を有する活動であり、継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保し、学校を含めた地域全体で生徒の望ましい成長を保障するもの。そのため、地域クラブと学校との連携が大切。
- 実態としては、現時点における地域展開等の進捗状況・見通しを踏まえると、今後、休日を中心に、地域クラブ活動が広く普及・定着していることが見込まれる一方で、当面は、平日を中心に学校部活動が存続する学校も一定程度あることが想定。
- 一方、その指導体制については、地域展開が原則となる休日だけでなく、地域連携も含めて取組が進められる平日についても、地域クラブの指導者又は部活動指導員が指導を担う体制を普及させていくことが重要。
- こうしたことを踏まえ、学習指導要領の次期改訂においては、地域クラブ活動の普及・定着を前提とした記載としつつ、地域展開が困難な場合等に実施される学校部活動に関しても教職員等の負担軽減の視点から一定の記載を行うことが考えられる。
- 今後、このような方向性を踏まえつつ、地域クラブ活動と部活動に関する記載内容についてスポーツ庁及び文化庁において更なる検討・具体化を進めた上で、中央教育審議会に報告されることが期待される。

※なお、学習指導要領解説については、別途、現行ガイドラインの記載等に沿った見直し（学校と地域クラブとの連携等に関する記載の新設等）が令和6年12月に行われている。

※学習指導要領については学校における教育課程の基準であり、現行の部活動についての記載も学校の教育課程との関連を中心に行われているものであることに留意が必要であり、地域クラブ活動と学校との必要な連携など、地域クラブ活動の実施に当たっての留意点等については学習指導要領解説や部活動ガイドラインなどにおいて詳細を記載していくことも考えられる。

各論（個別課題への対応等）

1. 地域クラブ活動を担う運営団体・実施主体の体制整備等

- 地域全体での連携体制の整備（地方公共団体と関係団体等との連携・協働、コーディネーターの配置、学校との連携等）
- 運営に関するサポート体制の整備、運営を担う人材の確保・育成
- 組織体制・財政基盤の整備
- ICT活用による運営業務の効率化 等

2. 指導者等の質の保障・量の確保

- 多様な人材の発掘・マッチング・配置（人材バンクの設置・運用、大学生の活用促進、希望する教職員の兼職兼業等）
- 適切な資質・能力の保障、人材育成（研修会開催、公認指導者資格の取得促進、指導の手引き作成、適切な処遇の確保等）
- 平日（学校部活動）と休日（地域クラブ活動）の一貫指導 等

3. 活動場所の確保

- 学校施設等の有効活用（地方公共団体等による協力等）
- 認定を受けた地域クラブ活動の優先利用・使用料減免等
- 活動場所の管理運営の効率化等（ICT活用、鍵の受渡しの負担軽減、指定管理者制度等の活用、学校施設の複合化等）

4. 活動場所への移動手手段の確保

- 既存車両の有効活用（スクールバスやスポーツ団体のマイクロバス等）
- 地域公共交通との連携等（運行ダイヤの見直し検討、利用料への補助、AIオンデマンド交通や公共ライドシェアの活用等）
- 多様な政策分野との連携・協働等（介護・福祉・医療等）

5. 大会やコンクールの運営の在り方

- 生徒の大会等の参加機会の確保（地域クラブ活動の認定制度の導入に合わせた大会参加規程の見直し、行政・関係団体等による協議の場の設定等）
- 大会に参加する生徒への支援等（交通費・宿泊費の支援等）
- 大会の運営及び引率等の体制整備（地域クラブ活動関係者や保護者等の参画促進、大会運営の外部委託等） 等

6. 生徒・保護者等の関係者の理解促進

- 国における取組（ポスター・チラシ・動画等、ポータルサイトやSNS等を通じた広報、説明会・シンポジウム等の開催）
- 地方公共団体等における取組（学校と連携した生徒等へのきめ細かな情報提供等、体験会等の開催、生徒等の希望を把握するためのアンケート調査やワークショップの実施等）

7. 生徒の安全確保のための体制整備

- 事故や暴力・暴言等の不適切行為やいじめの防止（指導者・保護者・生徒等への研修等、組織的な体制整備、相談窓口の活用促進等）
- 事故や不適切行為が発生した場合の責任の所在の明確化
- 生徒及び指導者の保険への加入（傷害保険＋賠償責任保険）

8. 障害のある生徒の活動機会の確保

- 多様な地域の関係者の参画（障害者スポーツセンター、地域のパラスポーツ協会、放課後等デイサービス実施事業者等）
- 新たなスポーツ・文化芸術活動の機会の提供
- 障害者対応指導ツール等を活用した指導者の資質・能力の向上 等

議事3 今後の地域クラブ活動の体制整備について

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」 最終とりまとめの主な変更点

- 「地域展開」に名称変更
- R8年～R13年度、改革実行期間
（前期：R8年～R10年度、中間評価、後期：R11年～R13年度）
- 休日については地域展開の実現を目指す。平日については地域の
実情に応じた取組を進める
- 受益者負担と公的負担とのバランス等の費用負担の在り方等を検
討、国において受益者負担の金額の目安を示すことを検討
- 県が広域自治体としてリーダーシップを発揮し、複数の市町村に
よる広域連携の取組を進める
- 次期学習指導要領における記載内容の変更を検討

議事3 今後の地域クラブ活動の体制整備について

都留市地域クラブ活動(運動部)				
No.	都留一中	都留二中	東桂中	地域クラブ活動
1	野球	野球		
2	ソフトテニス(男)	ソフトテニス(男)	ソフトテニス(男)	設置済
3	ソフトテニス(女)	ソフトテニス(女)	ソフトテニス(女)	
4	バレーボール(男)	バレーボール(男)		設置済
5	バレーボール(女)	バレーボール(女)	バレーボール(女)	
6	バスケットボール(男)	バスケットボール(男)	バスケットボール(男)	
7	バスケットボール(女)	バスケットボール(女)	バスケットボール(女)	
8	卓球	卓球	卓球	設置済
9			サッカー(R7総体まで)	
10		弓道		
11		剣道		設置済
12	相撲(季節部)	相撲(季節部)		
13	陸上競技(季節部)	陸上競技(季節部)	陸上競技(季節部)	設置済
14	ラグビー(季節部)	ラグビー(季節部)	ラグビー(季節部)	設置済
15			空手(季節部)	道場で実施
16			柔道(季節部)	道場で実施
部活動数	11	13	11	
都留市地域クラブ活動(文化部)				
No.	都留一中	都留二中	東桂中	地域クラブ活動
1	吹奏楽	吹奏楽	音楽	
2	文芸	文化		休日に活動を行う場合は地域の活動に参加
3	すみよし部	21世紀部	桂鮎部	地域の活動として実施
部活動数	3	3	2	

運動部

スポーツ協会と連携し、各種目の指導者の確保を取組中

文化部

吹奏楽部・音楽部は、都留文科大学や市内の関係団体等と相談中

「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」最終とりまとめを受け、体制整備に取り組む